

琉球大学学術リポジトリ

沖縄返還交渉資料第11巻

メタデータ	<p>言語:</p> <p>出版者:</p> <p>公開日: 2019-02-07</p> <p>キーワード (Ja): 佐藤総理, (社) 国際情勢研究会, 「沖縄等返還交渉について」の意見書, 南方連絡事務所の政経情報, 愛知大臣とロジャーズ長官及びスタンズ長官との会談, 岸特使のニクソン大統領及びロジャーズ長官との会談, 佐藤・ニクソン首脳会談, 佐藤総理のナショナル・プレスクラブでの講演と質疑, マスキー及びスコット上院議員ならびにランパート高等 弁務官の記者会見, 沖縄祖国復帰連盟, 不服申立制度の切換え</p> <p>キーワード (En):</p> <p>作成者: -</p> <p>メールアドレス:</p> <p>所属:</p>
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43639

その
他



ア

公 信 写

概 1 至急情報 (原 361) 至情報受 4 月 5 日 配布 4 月 7 日

第 2554 号 昭和 44 年 4 月 1 日付 (4 月 4 日受信)

外 務 大 臣 殿

在 米
下 田 大 使

岸 特 派 大 使 の 在 ワ シ ン ト ン 邦 人 記 者 会 見

要 録 の 送 付 に つ い て

岸 特 派 大 使 の 在 ワ シ ン ト ン 邦 人 記 者 会 見 (3 月 30 日) の 概 要 に つ い て は、 既 に 住 電 第 971 号 と し て 御 報 告 済 み の と し て、 今 般 本 件 記 者 会 見 要 録 を 作 成 し た の で 何 等 御 参 考 ま で に 別 添 送 付 致 し ます。

付 属 添 付

岸 特 派 大 使 の 在 ワ シ ン ト ン 邦 人 記 者 会 見 要 録

日 時 昭 和 44 年 3 月 30 日 午 后 9 時 5 分 以 約 30 分 間

場 所 下 田 大 使 公 邸

記 者 団 岸 特 派 大 使 は お 疲 れ の ち り に な る べ く 短

く し て ほ し い と の 大 使 館 の 希 望 も あ り、 な る べ く 短 く し た い。

特 使 は 1 日 ニ ク ソ ン と 会 合 せ ら し む が、 い つ こ こ

会 せ ら れ ば、

特 使 せ ら ば 大 使 に ま じ ゃ り 思 っ て い た 実 だ が、

…… ニ ク ソ ン は 式 後 2 日 間 服 喪 と な っ て い た の で

そ の 後 で も よ い と 思 っ て い た が、 …… 但 し 日 本 じ ゃ 日 会

開 会 中 の ち り に あ り 長 く は 滞 在 せ ざ り ば、 自 分 は

2 日 帰 国 の 予 定 と し て い る の で、 1 日 に な っ た の だ ろ う。

此 の 時 に 会 っ て、 あ り 会 談 時 間 が 短 く ち り に 思

ある程度時間がとればよいかと思つてゐる。

記者団 (出発に先立ち) 総理とはどうう話しして来られたか。

特使 (ニクソン大統領に) 会えば会つてくるといつた。特派大使というは葬儀に参加することだから、すめば早く帰つていふことだろうが、折角来たのだから、2日でも滞在して会えたら会いたいと思つた。

記者団 沖縄問題についての考え方を伺いたい。

特使 日米関係にむびを入つてはいけない。日本にはことごと日米関係にむびを入れようとする政治勢力がある。核問題がこれに利用されてはいけない。高い政治的見地から考へる必要がある。

記者団 (沖縄基地の) 自由使用の問題について (特使と) 佐藤総理との間に齟齬があるのでは

ないか。

特使 安保条約は改訂をいから事前協議の適用がある。これは常に如此といふに限らず、Yesということもある。従つて運用面で自由使用的な効果をあげることも出来る。

記者団 ニクソンにもその線で話されたか。

特使 どううことになつたか。

記者団 特使はニューヨークタイムズの記者に対し核抜き自由使用という話をしたとの記事が出てゐるが、実際にはどうう話をしたのか。

特使 日本人は核に対して敏感であり、この問題に対する認識を改めさせるのは難しいと思う。ニューヨークタイムズの記者とは日米新時代として平等の立場で友好関係を作つて行くという話をした時に、この問題にも觸れた。この問題は

政治家のみならず軍事専門家の意見も十分あった上、
高い政治的意見地から決定すべきものと考え、色々
方法はあると思う。

記者団 (沖縄について) 1日に話すのがよいから3日

以降にゆっくり話した方がよい。

特使 ある程度ゆっくり話したいと考えている。

場合によっては2日以降になってもよいと思っている。

下田大使 米側としては、岸元総理との会談に

ついては最優先的に考えたいと思っている。現に

ニクソン大統領就任後最初にお目にかかった際、

本年は佐藤総理が来米されるから宜敷くお願い

したいと、大統領の方から Mr. KISHI も来米される

のでしよう、と言われた位だ。

記者団 ニクソンとしては先に訪欧した方が

次もあり、日本を訪問する際には行くが優先的

に考える筈である。なお、駐日(米)大使がなかなか決らず
(記者団では)困っている。人材難という話だが、
早く決める方にお話しして、様子を見ていた
きたい。

特使 ニクソンとは副大統領時代に始めて

会った。その後(ニクソンの)浪人時代に日本に招待

した。更にケネディ等とあわせて訪日したこともあり、

ニクソンは3、4回訪日している筈である、という

次第で日本とは緊密な関係がある。

記者団 ニクソンとの会談では沖縄一本橋で

話したいのか。

特使 グローバルの見地から、アジアに対する

米国の姿勢等広い角度からきたいと思っている。勿論

沖縄の問題もあるが、私は総理の特使として、

特に沖縄問題につき話すというよりは米日報では無い。

記者団 かつ岸元総理が沖縄問題に拘る
 特使として、来米されるとの噂があったが、その後
 どうなっているか。

特使 何等かの事実はない。私はニクソン
 と親しく、ニクソンは周知のことである。また私は総理と
 兄弟であり、ニクソンもまた周知の事実である。従って私
 が総理の特使としてニクソン大統領に会うとい
 うのは、いかにもありそうなことだが、その事実を
 なかった。唯、早い機会にお祝いを述べるために
 来訪し、懇談したいとは思っていた。しかし当時は
 誰にも会わないことになっていた。—— 例外とい
 うのは、口王とイスラエルの人に会い、その両方
 をとるために両方に会ったという面白い話があるが
 —— また就任式にも来ようと思えば来たが
 混雑していつくか会えないということだったので

適当な機会を待っていた。今回は本来葬儀に来た
 訳だが、葬式だけで失礼する訳にも行かない。

記者団 5月解散の可能性はどうか。

特使 5月解散はない。私はニクソンを勧めた方
 だが、5月解散はできない。

記者団 やらないというとか、やれないというとか。

特使 やらないということだ。5月にやらないと
 秋にもやれない。

記者団 川島副総裁の話と大分違ふようだが。

特使 川島氏は自分はそんなことは言わないと
 いうので、新聞の誤報であるとしている。なお、
 正力氏は不出馬を声明しており、出ない。松村氏
 と異なり、正力氏は政治以外にも色々やることか
 あるから、むしろよいことではないか。

記者団 ニクソン以外の人にも会われる予定があったか。

特使 ニクソン以外には会う予定はない。もっとも、ドゴール、キーンガン、蔣経国、丁一叔、マルコス等知った人が沢山来るようだ。丁一叔とはチーパルの葬儀の時隣り合せ、丁度日韓外交正常化の前でその話しになり、パリに行つて萩原大使の所で話すことにした。その後丁が日本に寄つて総理と話しした。つまりこれが最後の詰めだった訳である。それ以来丁とは国際的な冠婚葬祭でいつか会つてゐる。

記者団 (31日のレセプションでは(ニクソンと)お話しは出来なかつたかと思ふが。

特使 挨拶だけださう。

記者団 ニューニクソンをどうみられるか。

特使 ニクソンとしては就任前の自由な身の時代に、世界政策についてよく研究してゐた筈である。

政策も変つてくるのではないかと思ふが、早急に変えるのは米側の国際的立場からも不適當であり、むしろ時間をかけて変つてくるのではないかと。

記者団 核技術の自由使用に対する米側の反応をどうみられるか。

特使 ニクソン大統領に会つてすぐ具体的な返事があつたわけでもなく、自分から返事を求めるわけでもない。私としては日本の国内情勢を含めて話しをするつもりであるが、米側としてもペンタゴンの意見等もきかぬはずだし、私としては何も自分で話を詰めて行くことは考へてゐない。

記者団 経済問題については話しを止めないか。

特使 話さない。

記者団 それではこの辺で。

(No. 361)

官	大、政務官、事務官、万代、外、外、官
省	領移、参、領、旅、長、参、参、北、中、東、西、経、経
内	米、参、西、西、東、東、洋、近、ア、参、書、近、ア
配	経、次、参、参、総、総、経、国、国、万、博、博
布	経、協、参、参、協、国、技、協、協、理、条、参、条、協、規
先	文、参、政、重、経、社、科、専、附、其、他、研、修、大、阪、神、戸
文	長、文、文、2、其、他、研、修、大、阪、神、戸
イ	ン、ド、大、ボ、ー、ト、ラ、ン、総、ア、イ、ル、ラ、ン、欧、シ、ド、ニ、ー、総
カ	ル、カ、タ、総、ホ、ノ、ル、ル、総、イ、タ、リ、ア、大、バ、ー、ス、総
ボ	ン、ベ、イ、総、ロ、ス、ア、ン、ジ、ェ、ル、ス、総、シ、ラ、ノ、総、メ、ル、ボ、ル、ン、
マ	ド、ラ、ス、総、カ、ナ、ダ、大、ウ、ェ、チ、カ、ン、大、ブ、リ、ス、ベ、ン、領
イ	ン、ド、ネ、ー、ズ、総、ウ、ェ、ン、ク、ー、ヴ、ー、総、オ、ー、ス、ト、リ、ア、大、ニ、ュ、ー、ジ、ー、ラ、ン、欧
ス	ラ、バ、ヤ、領、ウ、イ、ニ、ベ、グ、総、オ、ラ、ン、ダ、大、オ、ー、ク、ラ、ン、ド、領
メ	ダ、ン、領、ト、ロ、ン、ト、総、キ、リ、シ、ェ、大、ア、フ、ガ、ニ、ス、タ、ン、大
ウ	ィ、エ、ト、ナ、ム、大、モ、ン、ト、リ、オ、ル、総、ス、イ、ス、大、イ、ス、ラ、エ、ル、大
カ	ン、ボ、ト、ィ、ア、大、エ、ド、モ、ン、ト、ン、領、ス、ウ、ェ、ー、デ、ン、大、イ、ラ、ク、大
シ	ン、ガ、ボ、ー、ル、大、関、連、代、表、部、ス、ペ、イ、ン、大、イ、ラ、ン、大
セ	イ、ロ、ン、大、ア、ル、ゼ、ビ、ティ、ン、大、ラ、ス、シ、ム、マ、ス、総、ク、ウ、ェ、イ、ト、大
タ	イ、大、ウ、ェ、ネ、ズ、エ、ラ、大、ソ、連、大、サ、ウ、ヂ、ー、ア、ラ、ビ、ア、大
大	韓、民、国、大、ウ、ル、グ、ェ、イ、大、ナ、ホ、ト、カ、総、シ、リ、ア、大
釜	山、総、エ、ク、ア、ド、ル、大、チ、ェ、コ、ス、ロ、ヴ、キ、大、ト、ル、コ、大
中	華、民、国、大、エ、ル、ヴ、ャ、グ、ェ、ト、大、デ、ン、マ、ー、ク、大、イ、ス、タ、ン、ブ、ル、領
高	ネ、バ、ー、ル、大、ケ、ン、ネ、バ、大、独、レ、バ、ノ、ン、大
ネ	バ、ー、ル、大、グ、ェ、テ、マ、ラ、大、デ、ュ、ッ、セル、ト、ル、フ、大、ア、ラ、ブ、連、合、大
パ	キ、ス、タ、ン、大、コ、ス、タ、リ、カ、大、ハ、ン、ブ、ル、グ、大、ア、ル、ジ、ェ、リ、ア、大
カ	ラ、チ、大、コ、ロ、ン、ビ、ア、大、ベ、ル、リ、ン、大、エ、チ、オ、ピ、ア、大
タ	ヅ、カ、大、チ、リ、大、ソ、ニ、ル、ウ、ェ、大、ガ、ニ、ナ、大
ピ	ル、マ、大、ド、ミ、ニ、カ、大、ハン、ガ、リ、ー、大、ケ、ニ、ア、大
フィ	リ、ピ、ン、大、ニ、カ、ラ、グ、ェ、大、フ、ィ、ン、ラ、ン、ド、大、コ、ン、ゴ、イ、キ、ン、ヤ、大
マ	レ、イ、シ、ア、大、パ、ナ、マ、大、仏、大、ス、ー、ダ、ン、大
コ	ダ、キ、バ、ル、領、バ、ラ、グ、ェ、イ、大、ブル、ガ、リ、ア、大、セ、ネ、ガ、ル、大
ラ	オ、ス、大、ブ、ラ、ジ、ル、大、バ、ル、ギ、ー、大、象、牙、海、岸、大
香	港、大、サ、ン、パ、ウ、ロ、総、ポ、ー、ラ、ン、ド、大、タ、ン、ザ、ニ、ア、大
米	大、ベ、レ、ー、ン、総、ポ、ル、ト、ガ、ル、大、テ、ュ、ニ、ジ、ア、大
オ	フ、ラ、ン、ス、大、ポ、ル、ト、ガ、ル、大、ニ、ュ、ー、ジ、ー、ラ、ン、ド、大、ナ、イ、ジ、ェ、リ、ア、大
シ	ア、トル、大、レ、シ、フ、ェ、大、ル、ー、マ、ニ、ア、大、マ、ダ、ガ、ス、カ、ル、大
シ	カ、ゴ、大、マ、テ、オ、ス、領、英、大、(イ、ン、ド、総)、モ、ロ、コ、大
ニ	ュー、オ、リ、ン、大、ベ、ル、グ、レ、大、(リ、領)、ジ、ェ、ネ、ウ、ー、ク、代、(総)、プ、レ、ト、リ、ア、大
ニ	ュー、ヨ、ー、ク、大、ボ、リ、ウ、ィ、ア、大、O、C、D、代、ソ、ー、ル、ス、リ、ー、大
ヒ	ュ、ー、ス、ト、ン、大、メ、キ、シ、コ、大、家、大

北1至急情報 (No. 377) 至情報受 4月9日 配布 4月10日

第2717号 昭和44年 4月 4日付 (4月7日受信)

外務大臣 殿

在 米
下田大使

岸特派大使 邦人記者会見要録の送付

(4月9日)

岸特派大使の在米中邦人記者会見の概要は既に
往電沖1006号を以て御報告済の通り、今後本件記者
会見要録を作成したのて、御参考迄に別添送付す。

付属添付

岸特使大使、在カントン邦人記者会見要録

日時 昭和44年4月2日 午後3時半頃30分頃

場所 下田大使公邸

特使 本日のロッキース國務長官との会談は約30分
 向はあつた。先方は造ンソ國務次官及ヴソソ内務
 長が、又当方は下田大使及ヴ大河存参事官がこれに
 同席し、朝海書記官が通訳した。

会談の内容は、FVPの一般的问题が過半を
 占め、先方の意向に依りて、^{沖繩}ベトナム、中共問題等につき
 話をした。

下田大使 先方は主として聞き役に回り、全体の³本位を
 特使が話された。

特使 ^か私から昨日沖繩問題につき大體頷いて話した

ことを國務長官は既に会談録で読んであり、又、駐日
 大使の件については、造ンソ大使に知らぬ者が人を
 置ぼうとしている為、決定が遅れている^{私に}旨を説明した。

記者団 中共の本回造大に關する米側の反亦は？

特使 その話は未だない。

記者団 沖繩をめぐり昨日の会談の内容をロッキースが
 読んでいたというが、その反亦はどうか？

特使 6月に夏知大臣が、11月に佐藤総理が来^こるの
 もあり、私としては今年中に具体的存返を交渉に入ると
 思う。ロッキース自身、沖繩問題につきはきりした見直し
 を持っているとは思ふが、昨日の会談の記録を讀ん
 だこと^{今日の}中、私の話を真剣に聞いていたことは、相手
 の心構えを示すものといふことになる。

記者団 ロッキースは7月、日本へ行くが、その時には米側
 案がある見込なのか？

持使 見込があるが、私は愛知大臣が来る迄は充分

具体的に存じない。ロジャースが明言した訳ではないが

私は直から、国家安全保障会議で本件をとりあげ

子ものとみる

記者団 この会談はロジャースの側から申し込めというが

その意図は何か?

持使 まあ、ジョーンズが次官だし、ロジャースもいずれ

佐藤総理と会いながら、岸は総理の欠け、

ジョーンズの親友でもあるから、顔くらひみておこう

というのではなか。ジョーンズも会ったか、MMと言

のことも知らない。

記者団 相互に核抜き自由使用のことは何かのめい

えとしていたのではなか?

持使 そういうことではないが、

記者団 ニクソンがロジャースに、岸に会ったと言ったのは

持使 それは思わない。しかし、これが会った感じはロ

ースはいいね。

記者団 野田大使についてはこの辺りではか、...?

持使 いやあ、その件は出なかった。

記者団 かなり遅いだろうか?

持使 私は割に早くやろと思う。愛知大臣が来り、ロ

ース自身が日本へ行くのだから、大使が決まっていなくて

不便だから、...

記者団 今回の35分の中身は?

持使 沖縄とか一般問題が大部分だった。

記者団 一般情勢について、...

持使 中央については、アメリカから遠くの、日本は近

くから、どんな情勢なのか教えてほしいという感じだった。

米国のライシャワー、ケネディ、現在の中共政策を

表よとの意見もあり、当方の見方を聞きたがったのだ。

私は、一般人が言っているように改革は終わったのではないが、
 まだ情勢は不安定且つ流動的であって、今後の動きを
 見極めた上で動けばよいのではないかと述べた。長官も
 これを首肯した様子で、近々に米国の中共政策が変わると
 いう印象はなかった。

記者団 ワシントン合意再開の見通しは？

特使 それは聞いては出ない。

記者団 然しロッキースはこの年の議会での証言でもか
 り向きの発言をしているが...

特使 それは考えてはいるかも知れないが、カナダや
 リップル^{リップ}のように承認という段階まで作躍するとは思
 えない。だが中共を全くシャットアウトしておくとも思えないが、
 とにかく情報をつかもうという努力はしているようだ。中共
 にはアメリカ人記者がいないし、日本人についても日経の記
 者がうかがえたり、... び、こちらから行く者は色んな

制限を受けているから難しい。

記者団 簡単に言う事は協議で日本がNoという場合
 がありうる以上、事は協議条項を残し、基地の
 自由使用を認めるというのは論理が矛盾してはいないか？

特使 然し、事は協議はNoと言うとはかりではない。
 Yesと言うこともあるのだし、何か簡便な方法をみつけること
 可能である。だがこの話は今日の会談では出ていない。

記者団 交換公文をつける必要があるのか？

特使 ある。暗黙の了解とか腹きかけでは米軍部
 は納得しない。

記者団 かる交換公文は議会の承認を要するの？

特使 ないと思ふ。

下田大使 一般論として交換公文が議会の承認を要
 するかどうかはその内容により異なる。

特使 但し今日のロッキースとは異なる話ではない。

記者団 今日の特使問題は全然出たか?

特使 全然出た。安保に関しては双方共話すとが
ないのだ。

記者団 これはRIMP 極東の安全保障問題は
どうか。

特使 これは今日出た。私は以前、東京にある
国の駐日大使から、日本はRIMPに於て政治、経済、
軍事の諸面でも責任を担うべきではないか
と言われたことがあるが、この話は今日出た。

記者団 沖縄に関して、韓国や国産から圧力が加わ
っているか……。又、目下訪米中の韓国の丁國務
総理が半島に申し込めとの話もあるし……

特使 韓国が一番反対らしいが、この話は今日
出た。

記者団 RIMPとは何を話したのか?

特使 これは15分位の金の courtesy callにすぎない

記者団 これは韓国にも訪ねるというが、その予定は?

特使 知らない。

記者団 これは日本に於てRIMPの20舞に於

て行なわれるか?

特使 これは存じないと思う。だが三派は何も言わね

記者団 今度の特使訪問の総合的印象は? 一成
果があったかどうかが……

特使 大変好意を持って迎えてくれたことからして、私の訪
問は無意味ではなかったと思う。

記者団 最後に、VJTF問題は難しそうだと言ったが……

特使 一生懸命努力しており、平定計画もすすめてい
るが、中々和平はあつかいられない。その間にも何か出来る
ことはないか尋ねていた。

岸特使大使、在のソソソ邦人記者会見要録

日時 昭和44年4月1日 午後7時5分 約45分間

場所 下田大使公邸

特使 ニクソン大統領とは5時20分開始6時

35分迄、1時15分^{まで}に渡り^{まで}会談した。ニクソンと

ては本日121日の会談が元にも拘らず、意気

持ちも高く、日本の新総理というよりも、旧友の岸

が来てくれたという存子で迎えてくれ、長時間に渡

る会見となった。内容は半分以上、国際情勢に

関するもので、主としてニクソン大統領が米側の考

えを述べ、又、私の意見を求めた。ソソ、ソソ

中共問題等につき約半分の時間をかけ、残りは

日米関係、特に沖縄問題につき私の考を述べた。

先日も言及した今回の会見は私が日本の立場を代弁
するのみ、政府を代表するのみならず、友人としての意見の交換
をしたのである。

沖縄に関しては、この問題は日米両国で賢明に処
理すべし、友好関係が維持され、更に強固となるのが
処理を望むと、長きに渡り^{まで}日米関係に^{まで}入る球
があり、慎重に処理する必要があることを述べ、特に次の
2点を強調した。

①本件は緊急な問題であって、すみやかに解決する必要がある。

②基地問題については軍に軍事的面見地からだけではなく

——これを確かに検討せねばならぬが——高い政治的

英智を以て処理する必要がある。

基地の維持等の具体的な問題については、愛知大

臣訪米の際お話し申し上げ、又、ここに大使もおられるので

あがり、私は今はそれなりが、そのわけを随日大使

人事が厚いので困ると述べたこと。ニクソンは冷戦大
使が有能^だので、この先らめ人を進^だびたい、鋭意^だ進考中
なる旨述べたので、早く頼むと言っていた。

会談終了後 ニクソン大統領が、見送りがこれ、適当
な時に訪日したいと述べたので、総理に伝えると答えてお
いた。

従来、色々大統領と会談が、今回のように暖か
自由な空気の会談は私にとって初めてのことがあった。
今日は日本側は私と下田大使、大河内参事官が同席し
米側は キッシンジャー補佐官、スライターホワイトハウス
極東担当官、及び、その國務省日本部長が同席した。

記者団: ^{沖縄をめぐり}アジアの防衛に對する日本の自衛の問題は
話題になったか? 例へば日本の防衛力を強化しよ

特使: そういふことはなかった。沖縄問題は早く返す

ねば、といふことであつて、日本が自國の爲のみならず、
アジアの繁榮と安全の爲にも 尽せる体制を作らねば
があり、それは自國領土の一部が他國に占領さ
れていてはゆかぬといふ話をした。向うから自衛の向
題について提案をしてみたりしたのである。

記者団: 4月中旬に國家安全保障會議を申して沖縄
問題を全面的に検討するらしいといふ見通しがあるが、
そんな可能性はあるのか?

特使: ないだろう。

記者団: ~~その日~~ 基地自由使用の考
えは岸特使個人の考へとして伝えられたのか?

特使: 伝えられた。そういうことは政府ペースで
話すことであつて、自分はその基礎となる心構へを話
したのみである。

記者団: 大統領は沖縄問題につきよく勉強して

何か?

特使 率直に言えば、アメリカとしてはまだこれから検討して収容階はあるらしく、大統領自身、時に詳しいとは思わなかった。唯私の言うことは傾聴していた。

記者団 具体的に及ぶにつれて、その印象はどうか?

特使 私の感じとしては、大統領が、合意を打たなかったが、あれ程熱心に聞いてくれたことからして、この話をあつちかたにするとは思えない。僕が言ったことも少しは大統領の頭に残るだろうし、無駄にはならないと思う。—自分が言った通りになるかどうかは知らぬが...

記者団 その場合、沖縄住民の要望、日本国内の意見などは述べたのか? 基地については色々意見があると思うが...

特使 基地問題を、軍事的見地のみならず、政治

的見地から考慮してほしいと伺ったが、これは、日本国民一般の意向であるということであつて、向うもそういう意味で理解してくれと思う。

記者団 その奥に押すニクソンの反応は?

特使 日本は、 $\frac{1}{3}$ の反対党支持勢力があり、ニクソンもかかる政治情勢は承知している。沖縄が返還される場合には、日本国憲法も、条約も、商用されているに存するのだから、そういうことも頭に入れて判断せねばならない。政治的考慮とはこのことであつて、それは日米関係にひびが入るとの私の見解を述べたのである。

記者団 核という言葉は出てきたか?

特使 出た。日本国民には核という言葉に対して、米国民とは違った感情を抱いていることを、語るべきだ。

記者団 結論として日本国民の要望といつて、核抜き本土並といふことになるように思われるが...

特使 それは、政府の代表ではないから分らない。唯、
 軍事的必要がけから判断してはいたない。それがいつ
 日本人に好都合なとばかり求めてもいたない。日本はア
 プに押し、もう少し積極的な責任ある態度をとすべき。
 経済協力の面で、それは決定かけてはいたない。

記者団 上記2つの強調点については ニクソンの合意は
 あるのか？

特使 合意をとら認めてはいたない。今日は交渉場ではな
 かったのだから、要はこの2つの物指しを認めてもら
 いたいということである。

記者団 ホワイトハウス側では、中国問題をどう認めたか？

特使 ニクソンが言ったことを私が認めたとは出来た
 ない。PRリカとしては、今迄、従来の方針を渡すとは
 あるまいと思われる。

記者団 ニューニクソンといふことが言われるが、中共向

題に肉し、ニクソンは変わっていたか？

特使 印象として変っていた。

記者団 然しニクソンも当選以来、外交問題に肉し柔軟
 になつてゐる。そういう意味のニューニクソンのイメージは？

特使 柔軟というよりはむしろ慎重なのであって、政権
 担当者となつて誰にもそうである。

記者団 ヴェトナムについてはどうか？

特使 要するに経緯はあるが、結論的には解決する
 といふことになる。

記者団 沖縄とヴェトナムとを関連させた話は出たか？

特使 出た。

記者団 ミソ首相会談の考之についてはどうか？

特使 その件では、軍縮問題に限らず全面的に
 熱心であった。日本側の話を除けばこちらが戦
 役だから。

記者団 ニクソンは安保を高く評価しているとのことだが

あるが、この問題については何を語ったか?

特使 別に……。双方共これを継続するつもりだ。

極東の安全の為過去10年間大いに貢献したという事実は

あるので、特に問題はなかつた。

記者団 アジアの地域的防衛体制についての話は

なされたか?

特使 ななかつた。

記者団 佐藤総理からのメッセージはあったのか?

特使 ない。

記者団 先日東の沖繩問題に関する岸特使構想が

アウの死のお蔭でうまく実現したという感じがするが、どうか?

特使 特使といっても華儀に出席するだけか? 使命で

佐藤総理からも別に何を依頼されたのでもない。足差

から頼みにくいということもあるのかも知れないが……。総理

から私は華儀に参列する為の特使であつて他に目的

はない、唯、自分が会いたくない人との会合は勝手だが、と云つて

きている。私としては、主権者であると共に友人たるニクソン

に、華儀のついでに会つたことはない。ニクソンもその

関係故か、帰りがたにニクソンのオアシスの入ったゴルフホ

ールを土産にくれたよ。

記者団 然しニクソンと会つた感觸は総理に伝えるの

特使 そうだ。

記者団 核抜き自由使用の件は日本もあるが、打

合せて来たのか? 30日夜は核抜き自由使用の心算

だったのか?

特使 私は現役の総理でなくなつて以来、自分の発

言に対する注意深さが減つてきているが、問題はアウ

に話し合う雰囲気を作り、ある程度世間の注目を集める

立場にある人が、且ての吉田首相のように自由に記者団

に物を言うことが必要なのだ。尤もからニューヨークタイムスの
 時にも核抜き自由使用と言ったのだが、これが偶然、ニクソ
 ンに会う前のことだった為に、この線はニクソンと話を終
 るものにとられてしまい、日本で総理が質問せられた
 のである。私の見解として、持論は核抜き自由使用
 だが、そういうことを今言うのは適当ではないと思うし、又その
 つもりもなかった。単に自分の持論であるにすぎない。

記者団 世論の動向を説明するさい、核抜き自由使用
 という考えを出すことも出来たのではないかと？

特使 現在の世論の内一番特殊なものは日本人の
 核恐怖の感情であるから、余りこの問題には触れたいな
 かった。米側もこのことは分っていると思う。

記者団 ニクソンは 対中共政策は不変であると公明に
 述べているが、米国内でも Edward Kennedy は、積極的
 な意見の持主もあり、新聞論調では日本の積極的役

割を期待する向きもある。従って米側も抑力的になる
 のではないかと思っていたが、……

特使 別に将来とも絶対変えぬと言ったのではないかと
 今のところは近々に変えるという印象は受けなかった。

記者団 今日はバニカードとは会ったのか

特使 W.P. リチャードソンと会った。しかし沖縄の話はなかった。

記者団 明日のロジャースとの会談は最初予定されていた
 かどうか？

特使 予定されていた。ロジャースとの会談は当然
 話すとおぼろしく、ニクソンにこういう話をした。だから愛知大臣
 来訪の時の為には考えておいてくれ、ということになる。

下田大使 念の為にはまり申し上げておくが、今日の会談では
 核抜き自由使用論は一切出ず、核プルプルの話が
 出たのみである。

記者団 核の問題と、自由使用にするか専ら協賛にするか

の問題とではどちらが重要なのか。

特使 一番いいのは核めさしと明言せずして、事実として核を扱
いている状態である。核というのは存せざるべきありや存と
するに抑止力があるのだから、あると云ってしまうと日本人の
国民感情を刺戟してわんざいと言ってしまうと、抑止力
が減るのでこれはいいのである。

記者団 今日、ニクソンから沖縄に関しては何も具体的発言
はなかったそうだが、沖縄返還交渉の前途についての印象は?

特使 ニクソンは何も言わなかったから、この点は分からない。唯、
私の話に熱心に傾聴したことだけは事実である。

記者団 沖縄に関してのニクソンの言葉は何かは無いのか

特使 別に特に言葉はなかった。唯、今日は非常にお話し
合いをしたと言った。又、私の話に対して、「それは基地を
廃止せよと言うのか?」との質問があったので、そうではなく
基地の態様に與する問題のみであると説明しておいた。

記者団 それは結局今日はニクソンから何ら言葉を
得られず、という事で書いているのか。

特使 それは結構。大体今の会談で言葉をどの程度
が得られる筈ではないのである。

記者団 全体の感融として、本当の見通しはどうか? 厳しい
のか、楽観的なのか?

特使 ニクソンはまだ十分検討していないようであるから、
厳しいとか厳しくないとかは決めかねる。しかし、この話し合
い問題が比較的自給の時に話し合い、それを相手方が熱
心な態度で聞いてくれるという自体、プラスであると思う。

記者団 ニクソンは特使の「ニューヨークタイムズ」の専断記
者会見のことを知っていたか? ニクソンの知識はどの程度
のものか?

特使 ニクソンは何も言わぬから、どの程度理解している
のかわからない。問題があることは分っているだろうが、それ

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

更に強固となるが、処理を誤ると長きにわたる日米関係に
ひびが入るおそれがあり、しん重に処理を要すると考える
旨述べ、特に次の2点を強調した。

(イ) 本件は緊急な問題につき、速やかに解決する必要がある。

(ロ) 基地問題については単に軍事的見地からだけではなく、
——これももち論検討しなければならないが——

(3) 高い政治的えいちを以つて処理する必要がある。

基地の態様等の具体的問題についてはアイチ大臣訪米の際
お話されようし、また大使もおられるので、私はふれない
が、それにつけても、駐日大使人事が遅れていて困ると述
べたところ、ニクソンは、ジョンソン大使が有能なので、
これにおとらぬ人を選びたく、えい意選考中なる旨述べた
ので、早くたのむと言つておいた。

(4) 会談終了後、ニクソン大統領が、見送りがてら、適
当な時に訪日したい旨述べたので、総理に伝える旨答えて
おいた。

(5) 従来、いろいろ大統領にも会つたが、今日のように
あたたかく、自由な空気での会談は私にとつても初めての
ことであつた。なお、日本側からは、シマダ大使、及びオ
オカワラ参事官が同席し、米側からはキッシンジャー補さ
官、スナイダー・ホワイトハウス極東担当官及びフィン国

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

務省日本部長が同席した。

2. 続いて、質問に入り、記者団の関心はニクソンとの会
談及びオキナワ問題に対するキシ特使の考え方に集中した
ところ、要点次の通り。

(1) オキナワに関する私の自論は核ぬき自由使用であり
。その考えは今日まで変つていないが、ニクソンとの会見
では基地の態様は、政府ベースで取上げるべき問題であり
。自分はその基礎となる心がまえを話すとの観点より、上
述の2点((2)(イ)(ロ))を強調するに止め、自由
使用の問題は、個人的見解としても話さなかつた。

(2) 核の問題については、日本人は核に極めてびんかん
で、日本では米国とは違う感じを与える旨説明したが、こ
れ以外には話さなかつた。(当館注：核ぬき自由使用に関
する記者団の質問に対して、実際は核を置かず、外からは
核があるのかないのか分からないようなやり方が抑止力とし
ては最も効果的と思うと述べられた。)

(3) 先日も述べたように、本日の会見は日本の立場を代
弁し、交渉するものではなく、表けいをかね、あくまでも
旧友としての意見を変かんしたものである。交渉ではない
から、合意の有無ということもなく、将来の事務当局間の
交渉のための参考として上記2点を強調したにすぎない。
先日の発言は、元ろう的な心境より自由に私見を述べたに

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

すぎなかつたが、これが会談前だつたため、この線て話すと解される結果となり、総理から言葉を提された。総理からは私はあくまでそうぎのための特使であり、それ以上の意味あいはない。もち論会いたい人に会うのは勝手だがと言つてきている。

(4) ニクソン大統領は、熱心にけいちようした。ニクソンはオキナワについてはまだ十分検討していないようにみられ、専ら聞き役に回り、何等意見を述べなかつたので、そのオキナワに対する態度がきびしいか否か、私の見解がそのまま受け入れられるか否か、今後の返かん交渉の見通し、等については何とも言えないが、比較的白紙の時にこのような話をし、しかも大統領がこれにけいちようしたことは、わが方にとりプラスであると考え。

(5) ロジャース國務長官との会談で当方より話をするとすれば、ニクソンにこういう話をしたので、アイテ大臣訪米にかんがみよく考えておいてくれ、と言ふことだろう。

(6) 中国問題については、ニクソンの考え方が変わったとの印象は受けなかつた。米ソ交渉については、軍縮に限らず、全面的な問題についても熱心なようであつた。なお、ベトナム問題の会談の際、オキナワとの関係についてはふ

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

れられなかつた。またアジアの防衛に対する日本の負担を増大するよう要請をされたこともなく、アジアの地域的な防衛体制の話も出なかつた。安保については、過去10年間極東の安全のためにこうけんしており、日米双方とも、これを存続させるつもりであるので、特に問題なく、別に話はしなかつた。

(3)

ソカヒ 方博

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

300

大政外外領官
務務 典房
次次 審審長長
臣官官 審審長長
備備 次次 管管給

電信写

総入電厚計
参調折企
参領旅移

総番号(TA) 44303 主管
69年 月 日 時 分 米 国 発
69年 10月 3日 11時 00分 本 国 着 米北

外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

NHKのレアーダ国防長官インタビュー

第3/25号 略 至急

貴電米北/第/975号に関し

北米第一課長へアサオより

国務、国防両省広報担当官及び日本関係官を通じ本件実現方早速要請しおいたところ、状況次の通り。

1、国務省はNHK、在京米大使館等の要請を国防省に次ぎ、国防省は当初広報局が本件を担当していたが、ドウリン国防次官補代理にもその可否を検討方指示があつた由

2、9月26日国防省ISAトルエツクス日本課長より小菅に対し本件インタビューにつき意見を求められたので、

当方より本件取材の意ぎを説明し、インタビュー実現につきじん力してほしい旨強く要請しておいた。その際同課長より国防長官によるインタビューのフィルムのPREVIEW及び書面による質問の事前提出の可否を照会越した。

よつて当地NHKに照会したところ、いずれも可能であるとの回答を得た。

3、2日トルエツクス課長に本件インタビューの見通しに

ア 参地中東
長 北 東 西
参北北保
中南審
参西東洋
西東
長

近ア長 参書近ア
経次総経国万

長 参貿統
協政技二
長 国一理

参条協規
長 参政経科

長 軍社専
情参内
文長 一二

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

つき質したところ、ISAの助言に基づき広報局より長官に対しインタビューに応ずるよう意見具申中なるも、未だ決裁に至つておらず、決裁あり次第に連絡越す旨回答越した。

4、国防省日本関係者は本件に関し極めて積極的なるも、同長官は外人記者との単独インタビューに応じた先例がない由であり、また多ぼうを極めているので本件インタビューが実現するか否か予断を許さないものとみられる。

(了)

外務省

ソカ 万
ヒヒ 博

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲所に連絡ありたい。

300

大政 外務省
務次 典房
次官 審判長
官 審判長
備 審判長
入電厚計
国資参断折企
長 参断折企
領 参断折企
移 参断折企

電信写

総番号 (T A) 44303 主管
 69年 月 3 日 21時 50分 米 国 発 着
 69年 10 月 3 日 11時 00分 本 省 米 地

外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

NHKのレコード国防長官インタビュー

第3/25号 略 至急

貴電米北/第1975号に関し

北米第一課長へアサチより

國務、国防兩省広報担当官及び日本関係官を通じ本件実現方早速要請しおいたところ、状況次の通り。

1. 國務省はNHK、在京米大使館等の要請を国防省に次ぎ、国防省は当初広報局が本件を担当していたが、ドウリン国防次官補代理にもその可否を検討方指示があつた由

2. 9月26日国防省ISAトルエツクス日本課長より小宮に対し本件インタビューにつき意見を求められたので、当方より本件取材の意旨を説明し、インタビュー実現につきじん力してほしい旨強く要請しておいた。その際同課長より国防長官によるインタビューのフィルムのPRBVI、BVI及び書面による質問の事前提出の可否を照会越した。よつて当地NHKに照会したところ、いずれも可能であるとの回答を得た。

3. 2日トルエツクス課長に本件インタビューの見直しに

参地中京
長 北西
参北北保
中南
参西京祥
西京

参書近ア
次総経国万

参政技二
国一理

参余協編
参政経客

参社専
参員内ト
一二

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲所に連絡ありたい。

電信写

つき質したところ、ISAの助言に基づき広報局より長官に対しインタビューに応ずるよう意見具申中なるも、未だ決裁に至つておらず、決裁あり次第即連絡越す旨回答越した。

又、国防省日本関係者は本件に関し極めて積極的なるも、同長官は外人記者との単独インタビューに応じた先例がない由であり、また多岐を極めているので本件インタビューが実現するか否か予断を許さないものとみられる。

(7)

2

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

かんじんのところを除きWORDING等についての話がなされ、その範囲はせまい。

(問) WORDING 以外はむずかしい情勢か。

(答) / 9日午前中のサトウ・ニクソン会談が実質な話合いで / 回で終るかどうかはわからない。

(問) 今日は経済問題を扱うそうだが、せん維との絡み合いが具体的にあり得るか。

(答) 第 / 日でおキナワ問題につき実質的合意がなされれば、第 2 日はそれと全然関係なく経済問題について話合いを行う。たとえ合意できなくとも、第 2 日はこれと切離して行う。

(問) / 9日の会談において核問題については A、B 案の話合いか、それとも白紙で核問題を話合うのか。

(答) 推測であるが、A、B 案中心の話合いではないであろう。総理は日本側として基本線をずばりいい出される。それに対しニクソン大統領はどう出るかわからない。事務当局の書いた核の A、B 案の話合いという格好ではない。

(問) 米政府は / 5日首のう会談を開催し、オキナワの話が行なわれた訳であるが、観望として米側の最終的な態度が決まつたともみられるが、そう見るか、あるいは微みよるな点ではやんでいるとみるかをせき如何。

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(答) 最終的には大統領 M A T T E E だと思う。最終的結論はニクソン大統領が当然はらに持っていると考え、大統領を交えた会議での最終的結論が外に出すような形にまでなっていないと分せきする。

(問) 今日の事務レベルでの会議は経済問題であつたか。せん維以外に貿易、資本の自由化の問題が予想されるが、これは米側の提案に基いてやるのか、あるいは一般論からやうていくのか。

(答) 極めて事務的な話合いであり、しかも共同声明に関連しての経済問題の取上げ方についての話合いであり、共同声明に含めるかどうかの事務レベルでの話合いである。その実体はせん維であるが、これはジュネーヴに移つたはずだが、あるものはまだ残っていると感じとつている。

(問) 先般総理はリラックスされているといわれたが、これは総理が交渉の前途に明るい見通しを持っているという意味か。

(答) 交渉の過程でいろいろな話が出て心配していた時期、特に / 週間前位があつたが、核については終始自分(総理)が日本の基本的主張を述べれば米側に納得してもらえよとの確信を持っており、リラックスしているのはその確信に基くということだ。せん維の問題についても基本的な点はお互いに話合えよと考えておられている。

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(問) 核拡散防止条約について調印の時期を米側に明示するのか。

(答) 調印することは間違いないが、その時期につき米側に明示することはない。核拡散防止条約のみを共同声明で取上げることはないが、大統領との会談では軍縮一般を論議することになっているので、それとの関連で核拡散防止条約も話に出るだろう。

(問) 日本側は大統領との会談第1日でオキナワ問題に結着をつけたいとのことであるが、核もその時にかた付けるつもりか。

(答) 日本側としてはそのつもりであるが、大統領との話如何では2/日まで残るかもしれない。

(問) 先程総理は大統領を説得する確信があるといわれたが、事務接しようが進展しないのは事務当局が議会のことを気にしているためなのか。

(答) 事務当局と議会との関係は相手の内部事情であるので論評しないが、大統領は大局的判断を下し得る地位にあり、その過程は問わないが、われわれの希望するような決定をしてくれるだろうとの確信を持っている。

外務省

ソカヒ 万博

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 69年11月18日2時55分 米 国 主 管
 69年11月19日13時06分 本 省 発 着 米 1

外務大臣 閣下 大使 臨時代理大使 総領事 代理

キムラ副長官の記者会見

第3749号 平 大至急

往電第3729号に関し、

/8日午後3時55分(現地時間)より約45分間、キムラ副長官の記者会見が行なわれ、冒頭同長官の説明があり、続いて質疑応答に入った。模様次の通り。

/、総理は予定どおり、3時/5分にプレア。ハウスに入られた。昨日/日公休で休み、非常に気持をらくにしておられる。本日(/8日)//時よりシモダ大使を交え、/時間ほど打合せをしたが、何ら進展はない。

依然として核心である核の問題は事務接触の範囲外であるが、経済問題については、米国自体の財政、金融政策の方針、同時に日本側の貿易自由化、またはせん維問題につき、今後の考え方も含め、話し合いが行なわれている。「その内容につき事務的な面においてその表現または取扱い方について相当につまづいたという意味で進展がみられたといえよう。しかし、経済問題の取上げ方そのものが基本的に未決定であり、共同声明にもるかどうかも含め、ちよう上会

外務省

大政事外外務省
 務務 興房
 次次
 臣官官審審長長
 長長次会審審

総人電厚計
 国
 長 参調折企
 長 参領旅移

ア 参地中東
 長 北東西
 長 参北北保
 中 参一
 南 参西東洋
 歐 長 西東

近ア 参替近ア
 了長 次総経国万
 経 参買統
 協 参助技二
 長 参協協
 案 参参協
 長 参政経
 国 参社專
 長 参道内外
 文 一二
 長

1805

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

談にあげられる可能性は強い。」

経済問題との絡みあいという面はある。その取扱い方については米側の現在直面する米国自体の財政、経済面も同時にその中に表現されることになり、双方が各々の今後の経済政策等のもつて行き方を国際経済と関連において、相互に表現するというある意味では相互主義的な扱い方になっている。しかし具体的な内容については余りいえない。

その後明/9日の総理の予定につき話しなされた。

2. 質疑応答

(問) 第/回会談の運営のし方如何。

(答) 事務的な進め方と違い、どう進められるかわからない。考えられることは、直ちに核の問題には入らず、国際情勢一般につき、大局的な情勢認識から始まり、アジア、オキナワの問題に入るのではないか。

この場合、事務レベルですでに合意された以外の部分が当然対象となる。従つて、オキナワ問題に触ればすぐ核の問題に移るであろう。

(問) 明日の会談では経済問題が出ることはないか。

(答) 全く予想していない。推測であるが、サトウ・ロジャース会談においてこの問題が出ないとは言えない。

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(問) サトウ・ロジャース会談は、第/、2回の首のう会談と実質的につながりのある会談か、または次元の違うものなのか。

(答) 次元の違う話しになるのではないか。第2回目のように上会談をひかえての問題が起る可能性が強い。

(問) 米側は経済問題をオキナワ、核の問題と絡ませる作戦であるが、第/回会談で経済問題が出ない限り、核の問題は進展しないのではないか。

(答) そうとは考えない。

第/日目でオキナワ問題はだいたい解決がつくのではないか。従つてロジャースとの会談では核の問題がかた付いて良かったというムードのもとに話し合いが行なわれることを望むし、総理も同様である。

(問) ちよう上会談においてせん維問題は国際経済との関連というちゆう象的な話の中で出てくるのか。

(答) これは共同声明、ちよう上会談の議題にするかも含め、未定である。

その内容につき考えられることは日米双方にとり、重要な経済、財政につき、政策、方針の意見の交かん、国際経済の発展への寄与及び経済協力につき話しが行なわれ、また、貿易自由化、殊存輸入制限につき従来からの閣議の決定及び方針を再確認し、せん維問題については、ジュネーヴ

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

における予備的な接し方の推移をみつめるということになろう。

せん維問題については具体的進展は現時点では考えられない。その他、推測であるが、米国の直面するインフレの問題、せん維を含む重要問題をかかえるアジアへの経済協力等が話合われるであろう。

(問) 全体として昨日に比し、らつ観的なムードが強くなっているようだが。

(答) そういうことはない。経済問題につき事務レベルでやや進展が見られたが、核問題は全く進んでいない。会談の成功について確信していることは昨日に比し変りない。

(問) 米側は明らかにオキナワ問題とせん維問題とを結びつけている。にもかかわらず第1回会談で核問題につきかたがつくということとは、その前に事務レベルで日本側が経済問題につき譲歩し、それを認めて米側はちよう上会談では余りうるさいことをいわないで話をまとめるということではないのか。

(答) ちよう上会談への過程においては両問題が絡み合うこともあつたことは否定出来ないが、ちよう上会談におい

— 4 —

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ては最高政治判断があるのみで、マルティカパイかなどという話は絶対ありえない。明日の会談で核問題をとり上げた場合には、タイミングから言つても、ジュネーブや当地での話合の進ちよく状況を絡めることはあり得ない。

(問) 核についての話合いにつき途中で経過を聞けるか。

(答) 会談が終つた時に日米双方でどの程度話せるかを決め、その範囲でお話しすることになろう。またちよう上会談での実質問題といつても全部共同声明にもられるべきことだけで、むかしのよな秘密の話合いは絶対に行なわない。

(問) 7日午前の事務レベルの話合の状況如何。

(答) 自分は、トウゴウ・スナイダー会談についてはよく知らないが、ほとんど実質的進展はなかつたと思う。モリ外務審議官及びヨシノ公使とトレザイスとの会談の方は進展がみられた。

(問) 今後(今や、明朝等)も事務レベルの話合を続けるか。

(答) 核問題については話がちよう上に上げられたのであうない。経済問題については、もつと基本的な問題がちよう上に上るので、事務レベルでの話合いは当然続く。

(問) 核問題は東京以来全く進ちよくせずか。

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(答) 然り。この点は米側もはつきり、もはやわれわれのレベルの話し合いは終ったとしている。

(問) 会談成功の確信とは総理の確信か、御一行全体の確信か。

(答) 総理が一番強いだろうが、われわれももっている。

(問) 総理は核につき最初の考え方から変っていないか。

(答) 終始全く変っていない。

(問) 第1回、第2回会談で話がまとまらず、第3回に持込まれることはないか。

(答) それは核心の実体に関する限り絶対ないと確信している。

(問) 共同声明の文言についてはどうか。

(答) それはありうる。しかし、実体に関係するような文言ないし表現は実体とともに第1回会談でとりあげる。

例えば、双方にとりどちらにでもとれるようなワーディングを使うというようなことは実体問題であり、そのようなワーディングは避けたいというのが総理の念願であり、このような点を含めた実体問題は第2回以降には持越さないということだ。

問。それは自由発進についても同様か。

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

答。自由発進問題は事前協議にかかるものであり、事前協議の問題は具体的なケースに応じてその都度決められるべき問題であつて、どちらにでもとれるというようなことではない。問題は核であり核についてはいずれにでもとれるような表現がないでもないが、それは避けたいということだ。

問。先般「核及びヴィエトナムとの関連うんぬん」とお話があつたが、ヴィエトナムとの関連については事務的につまっているのではないか。

答。大体はつまっているが、だめおしはちよう上でやることになる。

問。問題の核心とは「核ぬき明記」ということか。

答。明記かどうかは分らぬが、実体的に核ぬき本土なみをする事だ。

問。核ぬきとは将来も含めてか。

答。然り。交渉は相手のあることだし、これはあくまでわが方の考えであるが、第1に現在ある核は撤去し、第2に将来も持込まないということだ。

問。この2つの点は不可分か。

答。然り。

問。経済問題につき自由化のスケジュールを約束させられるというようなことはないか。

答。ないと思う。輸入の自由化などもわが国が独自に進め

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ているもので、10月1日の閣議決定でもある程度スケジュールは入っているが、その促進を求められるなどということはある。

問。自動車の自由化はどうか。

答。資本の自由化についてはあまり大きく取上げられていない。ただし将来はそうなることもあると予想している。

問。もしオキナワについて明日合意に達した場合には発表してくれるか、さもなければ2日目の経済問題が終らないとオキナワもかたずかず、両者は絡みあっているということになる。

答。両者は交渉の過程では絡み合うべきものではないと考える。然し最終的には絡み合うこともあり得る。

問。せん維問題についてはジュネーブでの話し合いを見守るといふが、この問題は今回はかたずかないで残るといふことか。

答。ちよう上会談はガット何条を適用してうんぬんというように話す場所ではないので、結局「ジュネーブ会議を見守ろう」ということになる。

問。総理・ロジャース会談でせん維問題が出た場合、2日目のちよう上会談ではもうこの問題を取上げることがやめるといふこともあり得るか。

答。やめるといふことはないだろうが、とりあげ方が違つ

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

てくるだろう。

問。ちよう上会談で取上げる国際一般情勢とはどんなものか。答。先方からはSALT、中ソ関係の推移、朝せん半島の情勢、等々に触れるだろうし、わが方からはアジア全体の情勢、朝せん半島、中共、等々について話し、この中で両者の間で共通の認識を得られたものを共同声明にもることになる。

問。ヴァイエトナム問題についてはどうか。

答。ニクソン大統領は11月3日の演説の内容を説明し、総理がこれに対して見解を述べられることになる。どのような見解を述べられるつもりかは知らない。

問。安保条約自動継続の問題は第1回会談で出るか。

答。出るだろう。自動継続ではなく安保体制持続の問題は、オキナワの「本土なみ」返かんの前提であるので、当然出る。

(3)

万博
 大政事外務官
 事務次長
 大臣官舎審議長
 秘書長
 総務課長
 参調企
 参領旅移
 参調近
 参調統
 参調二
 参調一
 参調西
 参調東
 参調近
 参調統
 参調二
 参調一
 参調西
 参調東
 参調近
 参調統
 参調二
 参調一
 参調西
 参調東

注意
 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

1381

電信写

総番号(TA) 52550
 69年 月 19日 20時48分 米 国 管
 69年 月 20日 11時05分 本 省 着 米 駐
 外務大臣殿 下田 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理
 キムラ副長官の記者会見(ロジャース長官との会談)
 第3767号 平 至急(ゆき先処理)
 往電第3763号に関し、
 19日午後4時35分から約20分間にわたり、キムラ副長官が邦人記者団と会見したところ、冒頭1.のとおりの長官よりの説明の後、2.のとおりの質疑応答が行なわれた。
 1. ロジャース国務長官の午さん会の後午後3時から国務長官執務室で総理と国務長官との会談が行なわれ、米側からは、国務長官の他、ジョンソン次官、マイヤー大使、トレンザイス国務次官補、スナイダー公使が、日本側からは外務大臣、私、シモダ大使、モリ審議官、トウゴウ・アメリカ局長、ヨシノ公使が出席した。
 時間は1時間20分ぐらいで、最初の10分ぐらいは、今日の総理とジョンソン大統領との会談の内容に依っていたが、引続き共同コミュニケの内容について協議した。自然共同コミュニケの内容に関連はするが、主として経済問題の話し合いが中心となつた。特に共同コミュニケと経済問題の今後の話し合いとの関連等も含めやや下相談的話し合いであ

外務省

注意
 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

つた。
 従つて、引続き共同コミュニケの内容にわたる問題については、お話しできないので、御了承を得たい。
 2. 問。経済問題の話し合いは、項目としては、せん維と貿易の自由化と理解してよいか。
 答。そのとおり。話し合いの内容は必ずしも共同コミュニケにもられるとは限らない。共同コミュニケとの関連においてということ。内容については、昨日、一昨日の話から推測してよしい。
 直ちに共同コミュニケの内容というわけではないという意味は、現在ジュネーブでせん維に関する交渉が行なわれており、その交渉の経過、今後の進展等についても話しあつたということである。
 問。最初の10分間ぐらい昨日の会談の内容と同じような話し合いがあり、共同コミュニケの内容について協議したとのことであり、また共同コミュニケとの関連において経済問題を協議したとのことであるが、前段と後段とではまったく別種の話であると解してよいか。
 答。そのとおり、1回目の会談では経済の話は出なかつたので、明日の会談で協議される経済問題が主として話合われた。
 問。そうすると、前段でいう共同コミュニケに関する協議はWORDINGを相談したということか。

外務省

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

答。そうではない。レビューということではないが。国務長官は今日の会談に出席していなかったことでもあり。ごく自然な形で話題になった。

問。明日の会談の下相談で。必ずしも共同コミニケにのるとは限らないということは。明日の会談の内容もすべて共同コミニケにのるとは限らないということだと解してよいか。

答。そのとおり。ジュネーブで行なわれているせん維の交渉にもいろいろふれているから。

問。どうして総理がロジャースとの会談に出なければならぬのか。

答。これははじめからの予定で。特に理由はない。

問。午前の首のう会談とは異なり。午後は実質問題を討議したのであれば。多少は対立点などもあつたかと推測するが。

答。午前中の国際情勢の話と午後の経済問題の話とはやや性格。次元を異にする。また現に進行中のジュネーブにおける話合をもとりあげたため。内容的にも極めて流動的な面もあるということ。コミニケの差もある。しかし。友好的。建設的であることには変りはない。

問。明日の会談の下準備的なものであつたのであれば。今日。相当の点まで了解に達して明日は実体問題について議

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

論はしないようにしたということか。

答。昨日もいつたように。総理・ニクソン会談ではせん維などの実体的な問題は出ないだろうと予測している。ジュネーブで進められている話合に注目する。あるいはこれをテーク・ノートするということと済み。内容には入らないだろう。

問。そうなるために。ロジャースとの会談では。お互の立場を確認すると同時に。わが方からなんらかの歩み寄りを行なうということがあつたか。

答。今日の会談では中味について余りふれていない。ジュネーブでの話合に関する情報交かんなどであつた。

問。ジュネーブでの話合は進んでいるのか。

答。余り詳しくは知らないが。話が決れつもせずに続いているということは。懸いちようこうではないと双方ともとつている。所せん。日米間だけでかたずく問題はなく、

ある点まで行けば。マルティの形をとらざるを得ないの。明日新提案を出して具体的進展がみられるというようなものではないということは双方ともよく理解している。

問。同席者も発言したか

答。気らくなごん談的な会談であつて。交渉という固い雰囲気ではなく。ロジャース長官の他。マイヤー大使。ニクソン次官。外務大臣。新澤中大使。トレザイス次官補

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

もそれぞれ発言していた。総理ももちろん相当発言されていた。

問。午前の会談で話しのついた部分。また共同コミュニケの内容について話がなされたか。

答。午前の会談後、総理とロジャース長官は初めて会うことになり。ロも出席していないから雑談程度のものであつた。続いて経済問題につき主として共同コミュニケに関連する話してあつた。

問。午前中に決つたものを共同コミュニケに移す作業はどうか。

答。事務的作業を進める。

問。いずれにしても共同コミュニケに経済問題はのると考えてよいか。

答。先程から注意深くいつたように。共同コミュニケとの関連においていろいろ話がなされた。

問。まずのせるかのせないかの2つのステップがあるのではないか。

答。これについては。明日のサトウ・ニクソン会談にかかっている。その意味で関連といつた。

問。米側はジュネーブでの最近の動きに満足しているか。

答。具体的なものが出ていないので。満足しているかどうかいえない。継続しているということについて日米双方ともまずまずの形ということである。

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

問。経済問題につき実質的な意見交換において8割がせん維。他が残存といえるのか。また一番大きなウエイトをしめたものは何か。

答。せん維と残存は半分位である。

問。投資の自由化についてどうか。

答。出なかつた。この会議についてあくまで共同声明との絡み合いをあまり重視してはいけない。これは明日のサトウ・ニクソン会談で決まるもので。今日は実体的な話合いである。

問。今日の日米のかお扱いは異しよくであると思うが。

答。実体ということとで当然のことである。日米双方で担当しているヨソノ公使。トレザイス次官補が出るのは自然である。

問。せん維問題はオキナワ問題と異なり。米側は要求する立場であり。日本は要求される立場にある。せん維が何らかの形で共同声明にのりそうだということと。かりに米側が落すことを認めるならば。日本側が自主的にじよう歩をしなければあり得ないと思う。かりにせん維が落ちた場合。今後ジュネーブの接し方において日本側がじよう歩した形で進展して行くという自信を米側はもつのではないか。

答。必ずかしいところである。共同声明にのるかのらない

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

かは発出あとでないとわからない。その場合でもそのこと自体をじよう歩ということは私は抵抗がある。日米間のメ
イの問題ではじよう歩ということもあり得ようが。せん
問題はあくまでマルティでやることが本質であり。マルテ
イへもつていく過程で日本がある程度の役割を果たすこと
自体がじよう歩といえかどうか。じよう歩というのは実体的
。具体的現象の中でいうかどうかで。じよう歩というには
まだ早い。

(了)

外務省

カヒヒ 方博

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

大政事外外備

電信写

事務次長
官審審長
備文会管

人電厚計

参閣析企

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

参領旅移

総番号(TA) 52717
 69年 月 20日 19時05分
 69年 11月 21日 09時25分
 米 国 本 省 主 管 発 着 札1

外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理
 キムラ 副長官 記者会見

第3778号 平 至急(ゆう先処理)

往電第3763号に関し

20日午後1時(現地時間)よりキムラ副長官の記者会見
 が行われ。冒頭副長官より第2回サトウ・ニクソン会談
 の内容につき説明され、続いて質疑応答に入った。(会見
 時間約30分間)

1. 予定通り、本日午前10時よりホワイト・ハウス大統
 領執務室においてサトウ総理、ニクソン大統領の第2回会
 談が行われた。会談に先立ち、ニクソン大統領より、サト
 ウ総理に対し、ホワイト・ハウス中にはある万ばくのア
 メリカ館の模型につき説明がなされた。総理はリラックス
 したふん囲気の中で執務室に入られた。
 会談時間は午前10時すぎから12時20分ころまで続き
 。長い時間であった。

しかしながら、本日のテーマである経済問題に関する会
 談は約1時間であり、あとは再び国際情勢。とくにニクソ
 ン大統領側から、米國が直面している国際問題を交え、国
 際情勢全般につき見解が表明され、これにつき両首のうの

外務省

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲場に連絡ありたい。

電信写

Blank area for the telex message content.

外務省

注意

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲場に連絡ありたい。

2050

電信写

Vertical stamp area containing routing information and dates.

総番号 (T.A) 5-2717
 69年 11月 20日 19時 05分
 69年 11月 21日 09時 25分
 外務大臣 閣下 大使 臨時代理大使 總領事 代理
 キムラ 副長官 記者会見

第3778号 平 至急 (ゆう先処理)

往電第3763号に関し

20日午後7時 (現地時間) よりキムラ副長官の記者会見が行われ、回顧副長官より第2回サトウ・ニクソン会談の内容につき説明され、続いて質疑応答に入った。(会見時間約30分間)

1. 予定通り、本日午前10時よりホワイト・ハウス大統領執務室においてサトウ総理、ニクソン大統領の第2回会談が行われた。会談に先立ち、ニクソン大統領より、サトウ総理に対し、ホワイト・ハウス中にはある万俣くのアメリカ館の殺害につき説明がなされた。総理はリラックスしたふん囲気の中で執務室に入られた。

会談時間は午前10時すぎから12時20分ころまで続き、長い時間であった。

しかしながら、本日のテーマである経済問題に関する会談は約1時間であり、あとは再び国は情勢、とくにニクソン大統領側から、米國が直面している國は問題を交え、國は情勢全般につき見解が表明され、これにつき両首のりの

外務省

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

意見の交かんが行われた。

経済問題については、せん維問題、貿易自由化の問題を中心に話し合いがなされた。先ず御了承を得ているように、共同声明にもり込むか否かを含め、この時点でフリーピング出来ないことをおわびする。その実体的話の内容はだいたいにおいて推測の通りであり、現在進行中のジュネーヴにおける予備的せつしようを今後も順調に続けることにつき日米両国がこれを注視して行うということであり、余り具体的、しかも当然内容にわたるような話し合いはなかつた。

自由化の問題については、日本側の問題だけでなく、日米両国ならびに国際経済の発展という場における問題としてとりあげられた。当然先般閣議で了解された貿易の自由化についての政府の方針を再確認するとともに、今後とも自由化を推進して行くという立場を説明した。

次いで、サトウ総理夫妻より、ニクソン大統領夫妻に対するぞうとう品の説明があり、(前回訪米の時と異なり今回はぎてん長を通じとどけた。)また昨日の大統領ばんさん会におけるアメンカン・パレー(題名、フアンシー・フリ)開演に先立つニクソン大統領のメモアを変えたあい

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

さつの内容が説明された。

問 国際情勢のなかにはオキナワは含まれていないか。

答 オキナワは入っていない。極めて広はんな問題がとり上げられた。アメリカが現在直面している対ソ関係の問題。たとえばSALT、アメリカ自身の問題であるABM、中共に対する考え方。もち論ヴィエトナムの問題も話合われた。ニクソン大統領は非常によく^{よく}考え方を述べられたようだ。

問 核防条約は話題になつたか。

答 日本との関係ではなしに、核防条約の現在の進行状況、批准の状況等が話されたが、日本の調印の時期などにふれることはなかつた。

問 昨日はアジアを中心にした国際情勢、オキナワがらみ、ヴィエトナムがらみの国際情勢を話合つたということか。

答 オキナワ問題の前提として国際情勢を話合つた。

問 総理が一方的見解を述べたのか。

答 昨日は、話をきり出したのは総理であつたが、これに対しニクソン大統領もその見解を語り、共通の認識になつ

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

てオキナワの話合いに入った。

問 昨日話合った国際情勢と今日話合った国際情勢とはどう違うのか。

答 昨日と今日とは次元の違う話であつた。昨日はオキナワにもつて行くための国際情勢で、アジア中心であつたが、今日はむしろ世界情勢といった方がよいかも知れない。軍しゆく、SALT、核等広はんな問題が話合われた。

問 中共が話題になつてオキナワがからまないとは考えられないか。

答 そうではない。オキナワの前提としての国際情勢の話は昨日ですんでいる。

問 後進国に対する経済援助は話題になつたか。

答 そこまでは聞いていない。大きな意味での世界情勢の中で経済協力にもふれているとは思ふが、東南アジアに対する経済援助といった具体的な話はふれていない。

問 核防条約が、日本の問題としては、ふれられなかつたということは、共同コミュニケにのらないということか。

答 共同コミュニケに関してはお答えできないが、日本の

- 4 -

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

編印問題は昨日も今日もふれられなかつた。

使 資本自由化は。

答 ふれられなかつた。

問 会談は終始2人だけだつたか。

答 キッシンジャーがちよつとあらわれたが、打合せの程度で立合つたというものではない。

問 別室で待機したメンバーは。

答 昨日の通り。

問 スタンズが別室にあらわれたか。

答 そんなことはない。昨日のぼんさん会談以来スタンズとは会つていない。

問 別室ではどんな話が出たか。

答 雑談から始まり、共同声明の作成にも関連したいわゆる事務レベルの話も相当行われた。

問 今日の話の中でオキナワのいわゆる米資産についてふれたか。

答 総理・ニクソン会談では全くふれていない。

問 昨日もふれなかつたか。

答 昨日もふれず。

問 共同声明の仕上げ方はどういうプロセスになるか。

- 5 -

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

答 今日別室の話合いでも多少行われた。つめは午後トウゴウ局長とスナイダー公使の間で行われる。

問 明日の会談は予定通りか。

答 然り。

問 今日で実質的な会談は終り。明日の45分間はむしろぎれいなものと考えてよいか。

答 実質的には終つたと考えてよい。

問 共同声明の作成には大して難しい点はないと思うが。

答 然り。

問 共同声明中のオキナワの盛り込み方も実質的に終つたか。

答 然り。

問 昨日の会見では第3回会談も必ずしもぎれいなとは言えないということだったが。

答 もう一度共同声明の草案をおたがいに確認し合うということはある。しかし、その際大きな実質上の変化はないだろうし、ワーディングも事務的につめたものをそれぞれ上にあげるだろうから変わることはおそくない。ことほどさ様に順調に進んでいると考えていただきたい。

問 共同声明のつめはトウゴウ・スナイダー両者だけでやっているのか。

答 事にふれてヨシノ公使。モリ外務審議官も入るだろう

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

が、主としてその2人でやる。

問 「順調」とは、日本の立場として満足出来る状態で進んでいるということか。

答 双方にとって満足出来る状態ということだ。

問 ヲイヱトナム問題は昨日と違う次元で話されたのか。

答 然り。米側としてはこう考えるということだつたようだ。

問 昨日はオキナワにからむという観点からヲイヱトナムを話し合ったのか。

答 そこまでしぼつては話していなかつたようだ。というのはおそらく共同声明の中の取り上げ方にそれほど大きな事務的な差はないということだろう。

問 ヲイヱトナムの話をするれば戦争終結の時期にふれざるを得まいが、そうすればオキナワにも関連してくるのではないか。

答 戦争終結の時期について米國が現時点で説明するとも、出来るとも思わない。11月3日の大統領金米テレビ放送を世界がどう受取っているか。ニクソン大統領としてもはらの中に秘密のタイム・テーブルをもっているかも知れ

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ないが、今日、口に出すべき時期ではなく、われわれとしても、かれこれ言うべきではないので、1972年にオキナワ返かんの予定時期を考えていけばよいと思う。

問 今朝の会談で経済問題につき非常に強い調子で要諦がくり返されたか。事務レベルでは米側は強いことを言っているが、それとは別の考慮から違うニュアンスがあつたのか。

答 自由化は別として、せん維問題については米国の内部事情がいろいろあるので強いとか弱いとか、いうことを日本政府の側から出すことはえん慮したい。しかし総理と大統領の会談であるので、せん維問題のとり上げ方も自ら次元が違ふことはわれわれの予想通りであつたようだとだけ申上げて、あとは御想ぞういだけきたい。

問 国際情勢について日米間に見解のくい違いはないか。

答 なし。少くとも総理と大統領の間ではない。

問 昨日、今日会談を通じて、ニクソン大統領の方から日本の政局とか、サトウ政権の将来というような話が出なかつたか。

答 内政問題であるので先方もそこまでは質問せず。総理

-8-

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

の方から説明しなかつたようだ。

問 本日の会談に日米関係は参加しなかつたか。

答 参加せず。アイチ大臣はロジャース長官にさそわれてといえんを散歩しに行つたので、ある程度の話合はあつたものと思う。

問 残存輸入制限につきもう少し詳しく。

答 結論は申上げた通り。ただわが方の閣議了解の説明したり、また本件とせん維問題以外の話も出ているので、時間はかかる。

問 せん維問題と残存制限問題のどちらが多く時間を要したか。

答 残存制限の方のようだ。貿易自由化は米国の要求ということだけではなく、長期的にはわが国の国益にも合致し、大きくとり上げて然るべき問題である。そこに日本の国内事情もからみデリケートな点はあるが、どうどうと対米だけでなく対世界的に話合すべきである。

問 ジュネーブからの報道によると、日米間の話合は多少実質問題にも入っているようだが、米国はこのような動きに満足したのか、あるいは今後の進展に期待しているのか。

答 むしろ、後者の方にウエイトがあろう。現在は米国が

-9-

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

満足するというようなものではないのではないか。現に話合が継続していること。及び今後の進展の見通しも決して暗くないということに一応米側も満足しているということであろう。

(3)

ソカヒ 万博

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 52963 主管
 69年11月21日21時30分 米 国 発着 米北
 69年11月22日12時00分 本 省 着

外務大臣殿 下田大使 臨時代理大使 総領事 代理

総領御訪米(ナショナル・プレス・クラブにおける質疑応答)

第38/4号 平 大至急

往電第3796号に関し

総領は21日ナショナル・プレス・クラブにおけるちゆう食会において演説(原こうどおり)にひきつづき、ヘフマン会長がしようかいする記者側からの質問に約30分にわたつて答えられたが、質疑応答の要旨次のとおり(通訳アカタニ)。

問: 千島諸島の返かんはいつになるか。また今返かんの予定が決っていないのであれば、総領はその返かんを近い将来求められるか。

答: 北方領土の返かんは自分がいつも心配している問題であり、歴代の総領もしばしば交渉してきたところである。またアイチ大臣も先般の訪ソの際にその返かんを申入れたが、余り良い返事は得られなかった。自分はしばしば訪ソの招待をうけているが、本問題について見通しが見つからない限りこれを受けないといつても答えている状態である。本

大政事外外衛管
 務務 典房
 次次
 長官審審長長
 長官文会管管

参入電厚社
 参調析企
 参領旅移

参地中東
 長 北 西
 参北北保
 中南
 参一
 参西東
 長 西 東

参書近ア
 次総経国万
 参質統
 参政波二
 国一理
 参条協領
 参政経科
 軍社専
 参道内外
 文長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

件がきまらないのを非常に残念に思っているので、厚意を示してくれるみなさんの御べんたつを得たい。

問：今回オキナワ問題が結着したことに對する國民の支持にかんがみ解散の機がじゆくしたと感ずるか。また然りとすればその時期如何。

答：当地に来て米政府と交渉することにつき国内の一部で反対があつたことは事實であるが。これらの反対者もオキナワの早期返かんは望みながらも自分が交渉することには反対だといふので。どうも理解にくるしむ。また日本には一部安保に反対のものや。共産主義諸國に特別な好意をもつものもある。しかし日本國民の大部分。社会党支持者の中にも親米的なものも多く。全國民の80%は日米友好を望んでいる。解散問題はちようど核兵器の存在不存の問題と同じように。はつきり申上げられない問題である。

問：ニクソン大統領とオキナワにおける核兵器の問題を話し合つたか

答：ニクソン大統領との会談の内容については共同声明に発表した以外は一切話さない。

問：どうして共同声明にはせん維問題について触れなかつたか。またジュネーブにおける交渉により本問題は解決さ

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

れると思うか。

答：せん維問題は大統領との話には出たが。ジュネーブにおける話合についてはすぐみなさんにより詳細に報じられているので。今更共同声明に書くほどのことはない。自分はこの交渉を突りあるものにした。また必ずそうなる心から願っている。

問：日本の自動車産業に対する米國の投資についての制限の問題は話に出たか。

答：この機会に言いたいが。資本自由化。残存輸入制限撤廃については閣議ですでに決定したものもあるが。日本の經濟の發展はすばらしいので發展状況如何によつては更に自由化を進める用意がある。

誤解をさけるために言つておくが。よく自由世界の中で米國の經濟力は一位で日本は二位だと言われるが。マラソンに例えると米國は問題なく一位でそのはるかうしろで一團になつてこれを追つていゝ中で日本がやや前を出ている程度で。米國に追いつくはずもないということを知してほしい。

問：もしアジアにおいて西歐諸國の影響力が今後も低下を待つる場合には。日本は極東における經濟權益保持のため軍事的役割を増大するか。

答：難かしい問題である。自分は現在の平和憲法こそ日本

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

の途であると信ずるが、もち論日本人の一部には憲法を変えてもう一つなんかしようという考えのものもある。日本はエコノミック・アニマルという有難くない称を受けているが、これが変じてミリタリー・アニマルになるようなことは絶対に避けたい。大統領との話でも国力相応に日米で協力するが、日本は軍事力をもたず経済力によつて米国と協力することにより平和にこうけんしたい。経済援助を行えばこれを受ける国を安定させ、共存共栄の道を歩かせることになる。これこそ平和に徹する日本の道だと信ずる。

問：日本の新総理は日本のテレビによるニュース番組についてどう考えているか（わらう）。あるいはこの質問のはい景をご存知なければ日本ではヒッピー族についてどうしているか。

答：そつ直に言つて自分もテレビやニュース・メディアにはらを立て勝ちだが、みなさんのし事が自分たちのやつてい政治を国民に納得させるのに役立っていることを考えると大変感謝もしている。本来みなさんのし事に理解をもっているが、たまたま総理であるためにはらを立てることもあるというのが事情である。

ヒッピー族については自分もなやんでおり、米国に来たら

-4-

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

良い対策が見付かるのではないかと期待していたが、これまでのところこれというものも見当らないようだ。

なお、最後に総理より「自分はWIFE BEATERと考えられているようであり、これについて質問しようかとまよつている方もあると思うが、家内とは45年一しょにくらし、今度も共に訪米しているような次第であり、この

ことはユーモアというものが書き方がよくないとどうも人がらまてゆがめて伝えられるおそれがあることの良い例である」と御発言がありわらいのうちに質疑応答を終了した。

(3)

— < —

ソカヒ 万大 閣版

大政事外外蔵官
事務次長 典房
臣官官審審長長
儀総人電厚計
備文会管給
国資長領移長
参調折金
参領旅移

参地中東
長北東西
参北北
中南審欧
参西東洋
西東

近ア長
参審近ア
次総経国万
参賢統
参政技二
国一理
参政経科
軍社専
参道内外
長閣長文長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

261

電信写

総番号(TA) 37865 主管
 70年8月1日20時20分 沖縄 発
 70年8月1日21時53分 本省 着 米北1
 外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

三木前大臣記者会見

沖244号 平

本/日空港記者会見において三木前外相の述べられたところ要旨次の通り。

1. 3日間の滞在中官民から得た印象は、復帰に伴う期待と不安の交さくした気持ということであろう。
2. これに対しては復帰に際して(イ) 賃定措置及び特例措置を早く決め、(ロ) 将来の経済開発のウイジヨシと方向付けを明らかにし、(ハ) 基地をめぐる諸問題に対処するための基地のあり方に関する基本構想を固めることが大切である。
3. しかし、このような決定は、事務的な処理のみ上げてはだめで、政治の最高レベルで基本方針を具体的に、かつ一刻も早く明らかにせねばならない。
4. 返かんは国際的には日米間にしこりを残すものとならないよう、むしろ日米間の一層の友好増進になるよう持つへ行くべきであり、国内的にはおきなわ首の政治不安や経

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

済困難が生ずるようになってはいけな

5. このためには、日米りゆう三者のけん明な判断と努力が要求される。

6. (質問に答えて) このような考えは三木個人の構想ではなく自民党の考えであり、今後の施策や交渉も特定の人^がやらねばならぬというのではなく、要するに自民党が劇が行なうということである。国内政局の問題は、時機にこの場所で取上げるのは適当でないということを重ねて明らかにしておきたい。

(了)

外務省